白岡市議会議員

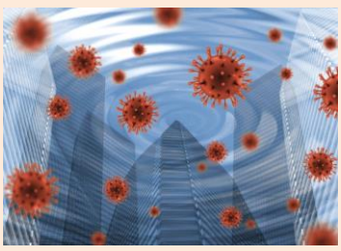
渡辺そういちろう

市政通信　Vol. 17

昨年末に中国武漢で発生し、猛烈な速さで世界中に広がった新型コロナウイルス。感染が急拡大する中で、残念な事に自宅療養中だった白岡市の患者の方が亡くなったという報道もなされました。ウイルスとの戦いは今も継続しており、対策の強化が必要です。渡辺が所属する会派「創政会」は市長に緊急要望を提出し、市の対策に様々な提言を行いました。また「創政会」を代表し６月議会で白岡市のコロナ対策について一般質問を行いました。

白岡の対応、課題は・・・

埼玉県が感染者対応をしていましたが、県と市の情報共有が進まず、患者が入院中なのか自宅待機なのかさえ、市は把握できていませんでした。検査や重症者対応に県は手一杯の状況。病院に入れず自宅待機となる患者の増加がメディアでも問題視されました。感染拡大に医療が追い付かなくなり、多くの市民の方から不安の声が寄せられました。



市長に「緊急要望」提出

一連の状況を踏まえ、白岡市長に緊急要望を提出！

①**感染対策の強化を！**特に病院のクラスター対策を徹底すべき。
②県に情報共有の要請を！**県任せでなく市も分担して対策を！**
③軽症者の療養施設の確保を県と協力して進めるべき。また**医師会と連携し、発熱外来の設置と医療従事者の確保を**図れないか。
④**オンライン学習の導入を。**子供たちの家庭学習支援の充実を。
⑤コロナ禍で影響を受けた**住民への支援を。**白岡独自の支援を！

その後

その後、市も県に要望を提出。県では **600** 以上の病床の確保が進み、南埼玉郡市医師会に **PCR** センター設置も決まりました。しかし医師不足は依然として課題のままです。また白岡独自の支援策が決まりました。（ひとり親世帯への現金支給等）

市のコロナ対策は！？

6月議会で一般質問した内容です。市議会会派「創政会」を代表して新型コロナウイルス対策について議会で取り上げました。

渡辺:これから台風シーズンがやってくる。避難所の過密をどのように回避するか、早急に検討すべきだ。避難所の増加や自宅待機・知人宅への避難を選択肢として検討しなければならない。避難所の感染症対策やマスク等の備蓄品の確保も必要だ。またもし避難所で発熱者が出た場合の対応をシミュレーションしておくべきだ。自主防災組織等とも情報共有を！

市:在宅避難や知人宅への避難を優先して頂きたい。避難所ではテントを購入し、避難者が密にならないよう工夫する。検温の実施やマスクの確保なども進める。発熱者には専用個室とトイレを用意して感染防止に努める。

昨年の避難訓練

渡辺:埼玉県の対応は問題があった。しかし市も県任せではなく能動的に対策する必要がある。県が手一杯の所は市が分担して対応していくしかない。保健所の機能不全を防止するために、自宅待機者の生活支援等を分担できないか。(経過観察や買い物代行等)。また市内の濃厚接触者の把握や感染者の子どもの預かり等も行うべきではないか。

市:基本的には埼玉県が対応するものと考えている。県から要請があれば協力していく。県には情報共有や病床数の確保を要望している。

渡辺:もっと関係機関と連携して対策すべきだ。
南埼玉郡市医師会が PCR センターを開始した。市は地域の医師会としっかり連携できているのか。

市:利根地域に検査場が設けられた。場所は非公開となっている。保険所や医師会と情報共有を進める。

PCR センター運営開始

【渡辺そういちろうPROFILE】

IT 企業勤務、衆議院議員公設秘書を経て白岡市議会議員として活動。明治大学大学院ガバナンス研究科卒業。

渡辺そういちろう にて是非ご検索ください！

soichirowt21@gmail.com　http://www.so-wat.net

「コロナでお困りの事があればお気軽にご相談ください！」

若き風の会

仲間と共に

◆河川のゴミ拾い
川のサポーターの皆様とともに市内の河川のゴミ拾い。

◆消防議会
救急業務の充実や災害対策の強化を取り上げました。

◆会派会議
創政会でコロナ対策を市に要請しました。最大会派として責任をしっかり果たしていきます。

TO BE CONTINUED・・・